

全身の浸出性症状と不眠を経て仕事を再開した成人アトピーの経過 (62 歳 女性)

症例 ID：001-60-SC | 記録日：2017 年 1 月 9 日

1. 診断・治療前経過

高校生頃からくしゃみと鼻づまりがあり、近年は目のかゆみも続いていました。20 歳を過ぎた頃に湿疹と高熱で入院し、ステロイドを使用した可能性があります。

2016 年 2 月末、右手甲の湿疹から症状が始まり、全身と顔へ広がりました。強いかゆみ、寒気、不眠、体重減少がみられました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	20 歳を過ぎた頃の入院時に使用した可能性があります。2016 年の皮膚科受診時にも処方されましたが、使用していません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	来院前に使用した可能性があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2016 年 2 月末	発症	右手甲の親指付け根に湿疹が出て、次第に全身と顔へ広がりました。
2016 年 9 月 20 日	治療開始	煎じ薬、抗ウイルス薬、外用処置、漢方入浴を開始しました。
治療開始直後	症状の拡大	手足と顔が赤く腫れ、全身から浸出液が出て、下痢と不眠も続きました。
約 2 週間後	変化	浸出液が減り始め、尿量が増えて浮腫も軽減しました。
約 1 か月後	経過中	浸出液は下肢を中心に残りましたが、寒気を伴う強いかゆみは軽減しました。
約 2 か月後	経過中	浸出液はほとんど出なくなり、脈拍数は 80 前後から 60 前後となりました。
約 3～4 か月後	生活変化	顔の症状はほぼ消え、体調に合わせて仕事へ出られるようになりました。

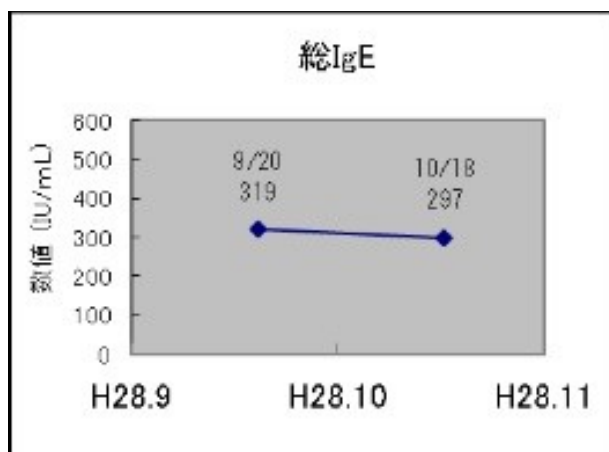
4. ピーク時期

ピークは、治療開始直後に全身が赤く腫れ、手足と顔から浸出液が出て、強いかゆみ、寒気、下痢、不眠、体重減少が重なった時期です。

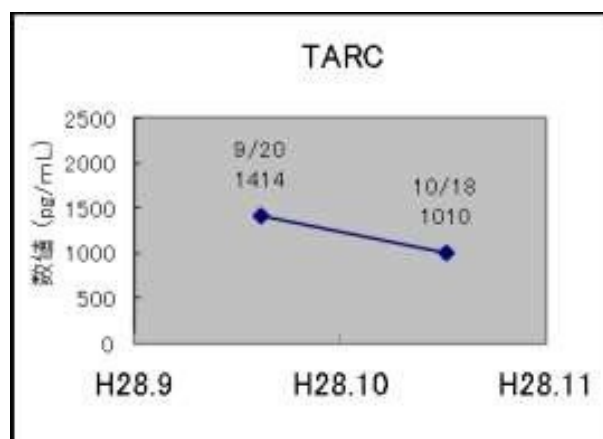
5. 困りごと

- ・制服が浸出液と外用薬で汚れ、半日で着替える必要がありました。
- ・浸出液で寝具が濡れ、強いかゆみも重なって眠れない日が続きました。
- ・食事量の低下と下痢により体重が 6kg 減り、仕事を休む時期がありました。

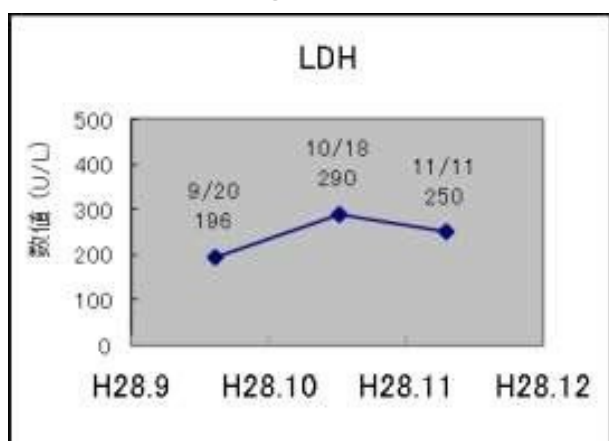
6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



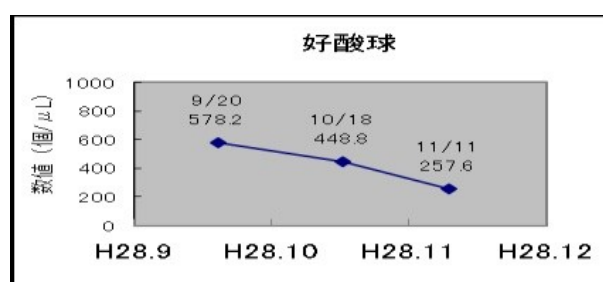
総IgEの推移。



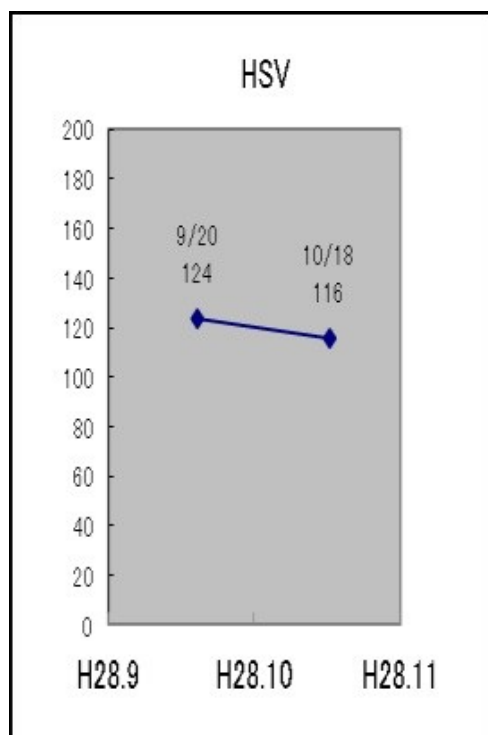
TARCの推移。



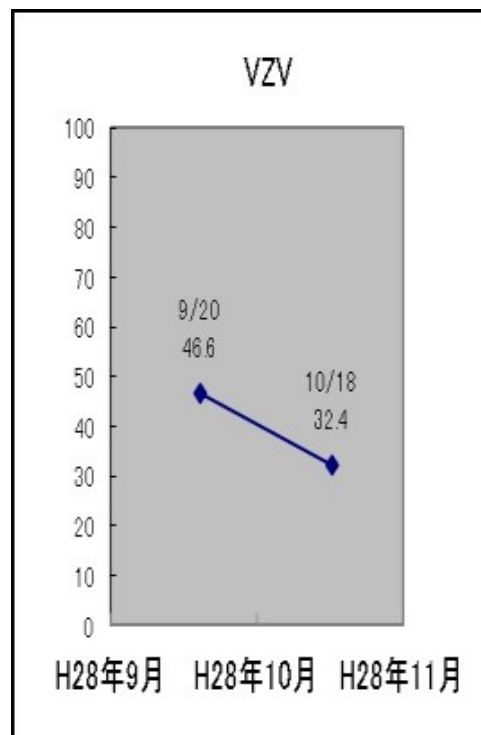
LDHの推移。



好酸球数の推移。



HSV 抗体値の推移。



VZV 抗体値の推移。

7. 経過のまとめ

治療開始から3～4か月後には全身の湿疹が大きく減り、顔の症状はほぼみられなくなりました。

下肢の腫れと湿疹、かゆみは残りましたが、2〜3時間続けて眠り、体調に合わせて仕事へ出られる状態となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。